

2011/7/12

宮城県医療支援チーム（Cチーム）派遣報告書

派遣先：宮城県石巻圏合同救護チーム（石巻赤十字病院内災害救護本部）

派遣期間：平成 23 年 7 月 5 日（水）～7 月 10 日（日）

派遣人員：呼吸器内科	医師	龍神 慶
2D 病棟	看護師	西川 誠人
病院管理課		長谷川 浩一

支援概要

本支援は、国立大学協会及び国立大学附属病院長会議からの要請を受けて始まった。国立大学附属病院が各地区単位でチームを組みリレー方式で支援を行うことにより、それぞれの大学病院の負担を軽減することとした。

各大学は、宮城県石巻圏合同救護チームを編成し、活動拠点の石巻赤十字病院内災害救護本部へ派遣している。

今回、滋賀医科大学は湊小学校内の診療所に滞在する形で、同小学校内の避難住民及び近隣地域住民の医療支援を行った。

支援方針

既に避難所近隣の開業医や病院が 95%まで再開されてきており、基本的に地元地域で医療行為が完結するというのが石巻合同救護チーム本部の方針である。避難所住民への過度の医療支援により、依存が強くなる前に住民の自立に向けての支援縮小が必要であるとのことであった。具体的には、チーム数は 7 月より 14 チームから 4 チームに縮小された中での活動である。また、17 日をもって支援終了となる。

活動報告

上記の方針に基づいて、湊小学校内の診療所において活動したが、地域医療機関受診までのつなぎとしての医療行為が主であった。慢性疾患で急を要さない場合は紹介状の作成、地域医療機関までの処方が必要な場合は基本的に院外処方を発行した。一日あたりの患者数は 10 名から 15 名程度であった。

感想

被災地を訪れて被災地の状況を目の当たりにし、被災者の方々や他の支援チームと密接に関わることから得た経験は、今後医療を行っていく上で、貴重なものとなったと確信している。

